

大磯町子ども・子育て支援に関する ニーズ調査ご協力のお願い (未就学児用)

皆様には、日頃から町政にご協力とご理解をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本町では、第2期大磯町子ども笑顔かがやきプラン（令和2年度～令和6年度）に基づき、様々な施策を行ってまいりましたが、令和7年度からの新たな計画を策定するにあたり、将来のよりよい子ども・子育て支援の実現に向けた参考にするため、就学前のお子さん全員を対象に、調査票をお送りさせていただきました。

今回実施する調査は、次期計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「必要量の見込み」を算出するため、町民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握する大切な調査です。

子育てに携わっておられるご家庭には、大変貴重な時間をさいていただくこととなりますが、この調査の趣旨を十分にご理解いただき、是非ご協力くださいますようお願いいたします。

令和5年12月 大磯町長 池田 東一郎

●ご回答にあたってのお願い

- ・この回答は、この調査票の封筒のあて名のお子さんの保護者の方をお願いいたします。
- ・お答えいただいた内容は、全て統計的に処理し、行政上の基礎資料として活用することを目的としていますので、他の目的に使用することはありません。また、回答者個人が特定されたり、プライバシーに関わる内容が公表されることは一切ありません。
- ・この調査は、大磯町内にお住まいの小学校就学前（2017（平成29）年4月2日以降に生まれた子ども）のすべての方に実施しています。小学生以下のごきょうだいがいらっしゃるご家庭には、お子さんごとに調査票が届くこととなります。ごきょうだいについても、お子さん全員の状況を把握する必要がありますので、大変お手数ですが、あて名のお子さんごとに、それぞれの調査票にてお答えください。

調査票にご記入いただきましたら、お手数ですが

令和6年1月24日（水）必着

にて、同封の返信用封筒をご利用のうえ、投函をお願いいたします。

● 問い合わせ先

大磯町町民福祉部子育て支援課子育て支援係

電話 0463-61-4100 内線 305・306（受付時間：土日祝日除く 8：30～17：15）

E-Mail：kosodate@town.oiso.kanagawa.jp

回答するに当たってお読みください

- ここで回答していただいた内容は、今後の（仮称）大磯町こども計画を策定するための、大変重要な資料となります。
- 現在、大磯町の子ども・子育て支援事業や施設を利用されている方のみならず、利用されていない方のご意見も、今後の計画策定のためには大切なデータとなります。
- 質問数が非常に多く、子育て中の皆様においてはご多忙の折ご負担をおかけし、誠に申し訳ございませんが、調査の趣旨をご理解いただくとともに、何卒ご協力くださいますようお願いいたします。
- ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。

(用語の定義)	
この調査票における用語の定義は次のとおりです。	
・幼稚園	学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
・保育所	児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
・認定こども園	幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
・子育て支援	教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
・放課後児童クラブ	学童保育とも呼ばれ、保護者の就労等により昼間家庭にいない場合などに、支援員のもと、子どもの生活の場を提供するものです。利用にあたっては、一定の利用料がかかります。大磯町では大磯小学校・国府小学校において開設しております。
・放課後子ども教室	地域の方々の協力を得て、放課後等に子どもたちの遊び場（居場所）の確保を目的とし、保護者の就労の有無に関わらず、全ての小学生が利用することができます。利用には、事前登録と年間登録料（保険料）が必要です。大磯町では、原則毎週水曜日（給食の有る日）に実施しています。自由遊びが原則ですが、ボランティアの協力や大学との提携等により、各種イベントを開催しております。
・ファミリー・サポート・センター	保育所・習い事等への送迎や自宅での育児ができないときに、一時的に子どもの預かりなどのお手伝いをします。（有料）

【ご記入にあたってのお願い】

1. 設問中の「お子さん」とは、あて名のお子さんのことです。
2. ご回答は、お子さんの保護者の方にお問い合わせます。
3. ご記入は、黒または青のボールペン、万年筆、濃い鉛筆等をご使用ください。
（無記名ですので、氏名・住所の記入の必要はありません。）
4. ご回答は、選択肢に ○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。○をつけていただく場合は、該当する番号や記号に ○ をつけてください。また、数字などをご記入いただく場合は、の記入欄にご記入ください。
5. 質問によって、○をつける数を「2つまで」などと指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。
また、「その他」をお選びいただいた場合、その後にある（ ）内には、具体的な内容をご記入ください。
6. 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、24時間制（例：午後6時は18時）でご記入ください。

あて名のお子さんご家族の状況について伺います。

※ 本調査は統計的に分析するために使用するもので、個人を特定するものではありません。

問1 お住まいの地区はどこですか。(○は1つ)

1. 高麗	2. 東町	3. 長者町	4. 山王町	5. 神明町	6. 北本町
7. 北下町	8. 南本町	9. 南下町	10. 茶屋町	11. 裡道	12. 台町
13. 西小磯東	14. 西小磯西	15. 中丸	16. 馬場	17. 国府新宿	18. 月京
19. 生沢	20. 寺坂	21. 虫窪	22. 黒岩	23. 西久保	24. 石神台

問2 「お子さん」の生年月をご記入ください。(数字で記入)

20			年			月生まれ
----	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	------

問3 「お子さん」のきょうだいは、「お子さん」を含めて何人ですか。また、「お子さん」は、何番目のお子さんですか。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。(数字で記入)

人きょうだいの	番目
(きょうだいの数には、「お子さん」も含めてください。)	
末子の生年月は、20 年 月生まれ	

問4 「お子さん」を含めた、家族全員の人数は何人ですか。(○は1つ)(単身赴任やひとり暮らしのお子さんなど、別居していても生計を一緒にする方はすべて含みます。)

1. 2人	2. 3人	3. 4人	4. 5人	5. 6人
6. 7人	7. 8人	8. 9人	9. 10人以上	

問5 この調査票にご回答いただいている方は、「お子さん」からみてどなたですか。(○は1つ)

1. 母親	2. 父親	3. その他 ()
-------	-------	------------

問6 この調査票にご回答いただいている方に、配偶者はいらっしゃいますか。(○は1つ)

1. 配偶者がいる	2. 配偶者はいない
-----------	------------

問7 父親、母親の年齢(令和5年4月1日現在の年齢)を伺います。該当する年齢層を下から選び番号をご記入ください。(数字で記入) ※ひとり親家庭の場合は、養育している親の年齢のみご記入ください。

父親の年齢は	母親の年齢は		
↑	↑		
1. ~25歳	2. 26歳~30歳	3. 31歳~35歳	4. 36歳~40歳
5. 41歳~45歳	6. 46歳~50歳	7. 51歳~55歳	8. 56歳以上

問 8 「お子さん」の子育て（教育を含む）を主に行っているのは、「お子さん」からみてどなたですか。（○は1つ）

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他（ ）

問 8-1 問 8 で「2」、「3」に回答された方に伺います。（ひとり親家庭の場合は回答不要です。）その配偶者は、子育ての分担を協力して行っていますか。（○は1つ）

1. よくやっている 2. 時々やっている 3. あまりやらない 4. まったくやらない

問 9 日頃、「お子さん」をみてもらえる親族・知人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる 2. 困ったときだけ祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる 4. 困ったときだけみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問 9-1 問 9 で「1」、「2」に回答された方に伺います。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

問 9-2 問 9 で「3」、「4」に回答された方に伺います。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

問 10 「お子さん」の子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 祖父母等の親族	2. 友人や知人
3. 近所の人	4. 子育て支援総合センター（めばえ）・子育て支援センター（すくすく）・つどいの広場
5. 保健所・保健センター	6. 保育士
7. 幼稚園教諭	8. 保育教諭（認定こども園の先生）
9. 民生委員・児童委員	10. かかりつけの医師
11. 町の子育て関連担当窓口	12. その他（ ）
13. 相談相手はいない・相談先はない	

問 11 あなたの周りには子育ての仲間がいますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------------------|--------------|--------|
| 1. 子どもを預けることができるくらいの仲間がいる | 2. 話をする仲間がいる | 3. いない |
|---------------------------|--------------|--------|

問 12 安心して子育てをするためには、地域でどのような取り組みが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 子育て中の人や子育て経験者が身近に集まれる場や仕組みをつくる |
| 2. 子育て中の親子が集まったり遊べる場を増やす |
| 3. 子育てサークルなどのグループの自主的な活動がしやすい仕組みをつくる |
| 4. ボランティアが活動しやすい環境をつくる |
| 5. 子どもと親と一緒にできる活動を増やす |
| 6. 地域の大人たちが連携して、子どもの活動を育成・支援する場をつくる |
| 7. 学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止の活動をする |
| 8. その他 () |
| 9. 特に必要ない |

問 13 生活するうえで、どのような不安や悩みをもっていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 生活費に関すること | 2. 教育費に関すること |
| 3. 仕事(就職・転職含む)に関すること | 4. 住居に関すること |
| 5. 子育て・教育に関すること | 6. 健康(病気)に関すること |
| 7. 結婚に関すること | 8. 友人・隣人との付き合いに関すること |
| 9. 家族・パートナーに関すること | 10. その他 () |

問 14 現在のお住まいは、次のうちどれにあたりますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|-------------------------------|
| 1. 持家(一戸建) | 2. 持家(分譲マンションなどの集合住宅) |
| 3. 民間の借家(一戸建) | 4. 民間の借家(賃貸マンション・アパートなどの集合住宅) |
| 5. 公団・公社・公営の賃貸住宅・アパート | 6. 社宅・公務員住宅などの給与住宅 |
| 7. 住み込み・寮・寄宿舎など | 8. その他 () |

問 15 昨年の世帯全員の合計の手取り収入(税金や保険料を引いた、実際に手元に入ってくるお金)は、次のうちどれにあたりますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|----------------|------------------|
| 1. 50万円未満 | 2. 50～100万円未満 | 3. 100～175万円未満 |
| 4. 175～210万円未満 | 5. 210～300万円未満 | 6. 300～400万円未満 |
| 7. 400～600万円未満 | 8. 600～750万円未満 | 9. 750～1,000万円未満 |
| 10. 1,000万円以上 | | |

あて名のお子さんの保護者の就労状況について伺います。

問16 「お子さん」の保護者のそれぞれの就労状況等は、次のうちどれにあたりますか。（自営業、家族従事者を含む）（それぞれに○は1つ）

就労状況	父親	母親
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない	1	1
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である	2	2
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない	3	3
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である	4	4
以前は就労していたが、現在は就労していない	5	5
これまで就労したことがない	6	6

問16-1 問16で「1～4」のいずれかに回答された方に伺います。

「1週間当たりの就労日数」と「1日当たりの就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時間」「帰宅時間」「通勤時間（片道）」は、どれくらいですか。（数字で記入）

※ 就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※ 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（数字を記入）

※ 時間は必ず24時間制でお答えください。（例）18時30分

	父親	母親
1週間当たりの就労日数	日	日
1日当たりの就労時間 （残業時間を含む）	時間	時間
家を出る時間	時 分	時 分
帰宅時間	時 分	時 分
通勤時間（片道）	時 分	時 分

問 16-2 問 16 で「3」、「4」に回答された方に伺います。今後の就労希望をお聞かせください。（それぞれに○は1つ）

今後の就労希望等	父親	母親
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）の就労を希望しており、実現できる見込みがある。	1	1
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）の就労を希望しているが、実現できる見込みはない。	2	2
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）の就労を継続することを希望する。	3	3
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）をやめて、子育てや家事に専念したい。	4	4

問 16-3 問 16 で「5」、「6」に回答された方に伺います。今後の就労希望はありますか。（それぞれに○は1つ）また、下記の「2」、「4」に回答された方は、□に数字をご記入ください。

父親		母親	
1	子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	1	子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2	1年より先、一番下の子どもが□歳になったところに就労したい	2	1年より先、一番下の子どもが□歳になったところに就労したい
3	すぐにでも、または1年以内に就労したい（フルタイム＜週5日程度・1日8時間程度の就労＞）	3	すぐにでも、または1年以内に就労したい（フルタイム＜週5日程度・1日8時間程度の就労＞）
4	すぐにでも、または1年以内に就労したい（パートタイム、アルバイト等） 1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間を希望	4	すぐにでも、または1年以内に就労したい（パートタイム、アルバイト等） 1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間を希望

あて名のお子さんの平日（月～金）の定期的な教育・保育事業の利用状況について伺います。

※ ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 17-1 に示す事業が含まれます。

問 17 「お子さん」は現在、幼稚園、保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。（○は 1 つ）

1. 利用している ⇒ 問 17-1 へ

2. 利用していない ⇒ 問 17-5 へ

問 17-1 平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答え下さい。（あてはまるものすべてに○）

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）
4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
5. 小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね 6～19 人のもの）
6. 家庭的保育（保育者の家庭等で子どもを少人数（5 人以下）で保育する事業）
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
8. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）
9. その他の認可外の保育施設
10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
11. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
12. 療育機関（児童発達支援を行う事業所等）
13. その他（ ）

問 17-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、現在どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか（問 17-1 で複数選択した場合は、合計をご記入ください）。また、1 週当たり何日、1 日当たり何時間（何時から何時まで）かご記入ください。（数字を記入）

※ なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

（1）現在の状況

		利用している時間帯（24 時間単位で記入）	
1 週当たり		日、1 日当たり	時間（ 時～ 時）
		（例） 0 9 時～ 1 8 時	

（2）現在の希望

		利用したい時間帯（24 時間単位で記入）	
1 週当たり		日、1 日当たり	時間（ 時～ 時）
		（例） 0 9 時～ 1 8 時	

問 17-3 現在、主に利用している教育・保育事業の実施場所はどちらですか。（○は 1 つ）

1. 大磯町内

2. 他の市区町村

問 17-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの教育や発達のため
2. 保護者が現在就労している
3. 保護者が就労予定がある／求職中である
4. 保護者が家族・親族などを介護している
5. 保護者に病気や障がいがある
6. 保護者が学生である
7. その他 ()

問 17-5 問 17 で「2」に回答された方に伺います。利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○) また、下記の「8」、に回答された方は、□に数字をご記入ください。

1. 利用する必要がない(子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる施設がない
8. 子どもがまだ小さいため (歳くらいになったら利用しようと考えている)
9. その他 ()

問 18 すべての方に伺います。現在、利用している、利用していないにかかわらず、「お子さん」の平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考えている事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

※ これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 幼稚園(通常就園時間の利用)
2. 幼稚園の預かり保育(通常就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)
4. 認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模な保育施設(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの)
6. 家庭的保育(保育者の家庭等で子どもを少人数(5人以下)で保育する事業)
7. 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)
8. 自治体の認証・認定保育施設(認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)
9. その他の認可外の保育施設
10. 居宅訪問型保育(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
11. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)
12. 療育機関(児童発達支援を行う事業所等)
13. その他 ()
14. 特になし

問 18-1 問 18 で「1～13」のいずれかに回答された方に伺います。教育・保育事業を利用したい場所はどちらですか。(○は1つ)

- | | |
|---------|-----------|
| 1. 大磯町内 | 2. 他の市区町村 |
|---------|-----------|

問 18-2 問 18 で「1」、「2」に回答し、かつ「3～13」にも回答した方に伺います。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（○は1つ）

1. はい

2. いいえ

問 18-3 問 18-2 で「1」に回答した方に伺います。その理由は何ですか。

あて名のお子さんの土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について伺います。

問 19 「お子さん」について、土曜日と日曜日・祝日に定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（○は1つ）。また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。（数字を記入）

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指します。親族・知人による預かりは含みません。

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

（1） 土曜日

- 1. 定期的に利用する希望はない
- 2. ほぼ毎週定期的に利用したい
- 3. 月に1～2回は定期的に利用したい

利用したい時間帯（24時間制で記入）



□ □ 時～□ □ 時まで
(例) 0 9 時～ 1 8 時

（2） 日曜日・祝日

- 1. 定期的に利用する必要はない
- 2. ほぼ毎週定期的に利用したい
- 3. 月に1～2回は定期的に利用したい

利用したい時間帯（24時間制で記入）



□ □ 時～□ □ 時まで
(例) 0 9 時～ 1 8 時

問 19-1 問 19（1）または（2）で「3」に回答された方に伺います。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1. 月に数回仕事が入るため
- 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
- 3. 親族の介護や手伝いが必要なため
- 4. 息抜きのため
- 5. その他（ ）

問 20 「幼稚園」を利用されている方に伺います。（該当しない方は問 21 へお進みください。）
「お子さん」について、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に教育・保育事業の利用を希望しますか。（○は1つ）また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。（数字を記入）

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

- 1. 希望しない
- 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
- 3. 休みの期間中、週に数日利用したい

利用したい時間帯（24時間制で記入）



□ □ 時～□ □ 時まで
(例) 0 9 時～ 1 8 時

問 20-1 問 20 で「3」に回答された方に伺います。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 週に数回仕事が入るため | 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親族の介護や手伝いが必要なため | 4. 息抜きのため |
| 5. 子どもの教育や発達のため | 6. その他 () |

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況等について伺います。

問 21 「お子さん」は、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援総合センター（めばえ）」、「子育て支援センター（すくすく）」、「つどいの広場」等と呼ばれています）を利用していますか。(あてはまるものすべてに○) また、利用されている場合は、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。(数字を記入)

- | | |
|--|--|
| 1. 地域子育て支援拠点事業（子育て支援総合センター（めばえ）、子育て支援センター（すくすく）、つどいの広場） | |
| 1 週当たり <input type="text"/> 回、または 1 ヶ月当たり <input type="text"/> 回程度 | |
| 2. その他類似の事業（具体名： <input type="text"/> ） | |
| 1 週当たり <input type="text"/> 回、または 1 ヶ月当たり <input type="text"/> 回程度 | |
| 3. 利用していない | |

問 22 地域子育て支援拠点事業（子育て支援総合センター（めばえ）、子育て支援センター（すくすく）、つどいの広場）について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。(○は 1 つ) また、おおよその利用希望回数（頻度）をご記入ください。(数字を記入)

- | | |
|--|--|
| 1. 今は利用していないが、できれば今後利用したい | |
| 1 週当たり <input type="text"/> 回、または 1 ヶ月当たり <input type="text"/> 回程度 | |
| 2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい | |
| 1 週当たり <input type="text"/> 回、または 1 ヶ月当たり <input type="text"/> 回程度 | |
| 3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない | |

問 22-1 問 22 で「3」に回答した方に伺います。その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 幼稚園や保育施設等に通っており、時間がない |
| 2. 通いやすい場所がない |
| 3. 地域子育て支援拠点事業（子育て支援総合センター（めばえ）、子育て支援センター（すくすく）、つどいの広場）を知らなかった |
| 4. その他 () |

1. いつでも気軽に立ち寄れる	2. 子育てに関する相談に応じてくれる
3. 保護者同士が知り合いになれる	4. 地域の子育て情報を入手できる
5. 不安や日頃の不満などを言い合える相手がいる	6. 気分転換やリフレッシュができる
7. 子どもの（または親子の）遊び場の提供	8. 子ども同士の交流の場（友達づくりの場）
9. 子どもの社会性を養う	10. 家ではできない遊びの体験ができる
11. 体を動かすことができる	12. 知能を育てることができる
13. 講座やイベントに参加できる	14. その他（ ）

	A 知っている		B これまでに利用 したことがある		C 今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
①マタニティスクール（母親・父親学級）	1	2	1	2	1	2
②保健センターの相談事業	1	2	1	2	1	2
③親子で参加できる教室・講座	1	2	1	2	1	2
④保育所や幼稚園の園庭等の開放	1	2	1	2	1	2
⑤子育て支援総合センター（めばえ）・子育て支援センター（すくすく）・つどいの広場での相談	1	2	1	2	1	2
⑥子育てコンシェルジュの相談	1	2	1	2	1	2
⑦ファミリー・サポート・センター	1	2	1	2	1	2
⑧町の子育て支援ホームページ	1	2	1	2	1	2
⑨子育て支援情報誌（大磯町子育てガイドブック）	1	2	1	2	1	2
⑩町の乳幼児健康診査	1	2	1	2	1	2
⑪5歳児健診「年中児すこやかアンケート」※	1	2	1	2	1	2

問24-1 問24で、⑦ファミリー・サポート・センターを「A 知っている」で「はい」を選択し、かつ「B これまでに利用したことがある」で「いいえ」に回答した方に伺います。現在まで、利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 登録の仕方がわからない
2. 利用しようとしたが条件に合う援助会員がいなかったと言われた
3. 近くに祖父母など頼れる人がいる
4. 知らない人に預けるのは不安
5. その他 ()
6. 特に理由はない

問 25 今後、ファミリー・サポート・センターの援助会員になりたいと思いますか。(○は1つ)

※ 援助会員とは保育ニーズのある保護者からお子さんを預かり、自宅で保育したり、保育所・学童等への送迎の援助等を行う活動です。

1. なりたいと思う

2. なりたいとは思わない

問 25-1 問 25 で「2」に回答した方に伺います。その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 時間がない

2. 他人の子を預かることに抵抗がある

3. 報酬が低い

4. その他 ()

あて名のお子さんの病気の際の対応について伺います。

問 26 問 17 で「1」に回答した方に伺います。(該当しない方は問 27 へお進みください。) この1年間に「お子さん」が病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかったことはありましたか。(○は1つ)

1. あった ⇒ 問 26-1 へ

2. なかった ⇒ 問 27 へ

問 26-1 「お子さん」が病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法をお答えください。(あてはまるものすべてに○) また、それぞれの日数もご記入ください。(数字を記入) ※ 半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。

1. 父親が仕事を休んで子どもを看た			日	→ 問 26-2 へ
2. 母親が仕事を休んで子どもを看た			日	
3. 親族・知人に子どもを看てもらった (同居者を含む) . . .			日	→ 問 27 へ
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た			日	
5. 町の病児・病後児の保育施設を利用した			日	
6. 民間のベビーシッターを利用した			日	
7. ファミリー・サポート・センターを利用した			日	
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた			日	
9. 仕方なく子連れで仕事をした			日	
10. その他 ()			日	

問 26-2 問 26-1 で「1」、「2」に回答した方に伺います。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。(○は1つ) また、利用したいと思う日数もご記入ください。(数字を記入)

※病児・病後児のための事業等の利用には一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医等の受診が必要となります。

- | |
|--|
| 1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい → 年間 <input type="text"/> <input type="text"/> 日くらい |
| 2. 利用したいとは思わない ⇒ 問 26-3 へ |

問 26-3 問 26-2 で「2」に回答した方に伺います。そう思う理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安 | 2. 地域の事業の質に不安がある |
| 3. 利便性(利用時間・日数など)がよくない | 4. 利用料がかかる・高い |
| 5. 利用方法・制度等がわからない | 6. 保護者が仕事を休んで対応する |
| 7. その他 () | |

問 27 病気やけがで「お子さん」を預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業 |
| 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業 |
| 3. 町内の病院と提携の取れている施設で保育する事業 |
| 4. 地域住民が子育て家庭の身近な場所で保育する事業(ファミリー・サポート・センター等) |
| 5. その他 () |

問 28 「お子さん」が病気やけがの場合に、仕事を休んで看ることができますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 仕事を休んで看ることができる | 2. 仕事を休んで看ことは難しい |
| 3. 仕事を休むことはできない | 4. わからない |

問 28-1 問 28 で「2」、「3」に回答した方に伺います。その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない | 2. 仕事の都合上、休めない |
| 3. 自営業なので休めない | 4. 休暇日数が足りないので休めない |
| 5. その他 () | |

あて名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について伺います。

問 29 「お子さん」について、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不
定期の就労等の目的で、現在不定期に利用している事業はありますか。（あてはまるものす
べてに○）また、その場合の1年間の利用日数（おおよそ）及び希望する利用日数もご記入
ください。（数字を記入）

※ 事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかる場合があります。

※ 事業によっては大磯町で実施されていないものもあります。

	利用日数（年間）	
	現在	希望
1. 一時預かり -----> (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	日	日
2. 幼稚園の預かり保育-----> (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	日	日
3. ファミリー・サポート・センター -----> (地域住民が子どもを預かる事業)	日	日
4. トワイライトステイ -----> (児童養護施設等で休日・夜間に子どもを預かる事業)	日	日
5. ショートステイ -----> (児童養護施設等で宿泊を伴って子どもを預かる事業)	日	日
6. 民間のベビーシッター ----->	日	日
7. その他 () ---->	日	日
8. 利用していない ⇒ 問 29-1 へ		

問 29-1 問 29 で「8」に回答した方に伺います。現在利用していない理由は何ですか。（あて
はまるものすべてに○）

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 事業の質に不安がある
4. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い
6. 空きがない等利用したいときに利用しにくい
7. 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない
8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他 ()

問 30 「お子さん」について、保護者の私用、親の通院、不定期の就労の目的で、一時預かり等を利用する希望がありますか。ある場合、その利用の目的は何ですか。（あてはまるものすべてに○）また、ある場合は必要な日数もご記入ください。（数字を記入）

※ 事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかる場合があります。

1. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的・年間			日
2. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等）・・・年間			日
3. 不定期の就労・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・年間			日
4. その他（・・・・・・・・・・・・・・・・）・・・年間			日
5. 利用する必要はない			

問 30-1 問 30 で「1～4」のいずれかに回答された方に伺います。問 30 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）
2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：子育て支援総合センター（めばえ）等）
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. 民間のベビーシッター
5. その他（・・・・・・・・）

問 31 この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、「お子さん」を泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（あてはまるものすべてに○）（預け先が見つからなかった場合も含みます）また、ある場合は日数もご記入ください。（数字を記入）

1. 親族・知人にみてもらった（同居者を含む）・・・・・・・・			泊
2. その他の保育事業（ベビーシッター等を利用した）・・・・・・・・			泊
3. 仕方なく子どもを同行させた・・・・・・・・			泊
4. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた・・・・・・・・			泊
5. その他（・・・・・・・・）を利用した・・・・・・・・			泊
6. みてもらうことはなかった			

小学校就学後の朝と放課後の過ごし方について伺います。

朝の子どもの居場所づくり事業とは、

地域のボランティア等の協力のもと、小学校の始業前（7：15～8：30）に学童施設を利用して子どもたちが安全・安心に過ごすことのできる居場所を設け、保護者の就労の有無に関わらず、全ての小学生が利用することができる事業です。（利用には、事前登録と登録保険料が必要です。また、利用の際は、保護者が実施場所に送り届ける必要があります。）

問 32 「お子さん」について、就学後、朝の子どもの居場所づくり事業に登録する意向はありますか。（○は1つ）

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 利用したい | 2. 利用する希望はない |
| 3. 朝の子どもの居場所づくり事業を知らない | 4. わからない |

問 33 「お子さん」について、小学校のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）また、低学年のとき、高学年のときそれぞれ希望する週当たりの日数をご記入ください。（数字を記入）

※ 事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかる場合があります。

	小学校低学年のとき に利用したい日数	小学校高学年のとき に利用した日数
1. 自宅	週 日くらい	週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい	週 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）	週 日くらい	週 日くらい
4. 放課後子ども教室※1	週 日くらい	週 日くらい
5. 放課後児童クラブ（学童保育）※2	週 日くらい	週 日くらい
6. ファミリー・サポート・センター※3	週 日くらい	週 日くらい
7. その他（図書館、公園など）	週 日くらい	週 日くらい

※1 「放課後子ども教室」・・・地域の方々の協力を得て、放課後に小学校等で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

※2 「放課後児童クラブ」・・・地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、支援員のもと、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

※3 「ファミリー・サポート・センター」・・・保育所、習い事への送迎や自宅での育児ができないときに、一時的に子どもの預かりなどのお手伝いをします。（有料）

問 33-1 問 33 で「5」に回答した方に伺います。土曜日と日曜日・祝日や夏休み・冬休みなどの長期休暇中に、放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。【（1）（2）（3）それぞれ○は1つ】また、利用希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。（数字を記入）

※ 事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	➡ 利用したい時間帯 時～ 時まで (例) 0 9 時 ～ 1 8 時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する希望はない	

(2) 日曜日・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する希望はない	利用したい時間帯 □ □ 時～ □ □ 時まで (例) 0 9 時 ～ 1 8 時まで
--	---

(3) 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する希望はない	利用したい時間帯 □ □ 時～ □ □ 時まで (例) 0 9 時 ～ 1 8 時まで
--	---

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について伺います。

問 34 「お子さん」が生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。
 (母親、父親それぞれに○は1つ) また、取得していない方はその理由を下記から選んで
 ご記入ください。(数字を記入)

母親 (いずれかに○)	父親 (いずれかに○)
1. 働いていなかった 2. 利用した (利用中) 3. 利用していない ⇒ 利用しなかった理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも)	1. 働いていなかった 2. 利用した (利用中) 3. 利用していない ⇒ 利用しなかった理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも)

利用していない理由 (あてはまる答えの番号を上記の枠内にご記入ください)

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった 4. 仕事に戻るのが難しそうだった (自身のスキル低下、休業に伴う退職勧告等) 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる 7. 保育所などに預けることができた 8. 配偶者が育児休業制度を利用した 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 10. 子育てや家事に専念するため退職した 11. 職場に育児休業の制度がなかった 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった 13. 育児休業を取得できることを知らなかった 14. 産前産後の休暇 (産前6週間、産後8週間) を取得できることを知らず、退職した 15. その他 ()
--

問 34-1 問 34 で「2」に回答した方に伺います。育児休業後、職場に復帰しましたか。(母親、父親それぞれに○は1つ)

母親 (いずれかに○)	父親 (いずれかに○)
1. 育児休業後、職場に復帰した	1. 育児休業後、職場に復帰した ⇒ 問34-2へ
2. 現在も育児休業中である	2. 現在も育児休業中である ⇒ 問34-5へ
3. 育児休業中に退職した	3. 育児休業中に退職した ⇒ 問 35 へ

問 34-2 問 34-1 で「1」に回答した方に伺います。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（母親、父親それぞれに○は1つ）

※ 年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった	2. それ以外だった

問 34-3 問 34-1 で「1」に回答した方に伺います。育児休業の利用期間等についてお答えください。（母親、父親それぞれに数字を記入）

- （1）お子さんが何歳何ヶ月の時に職場復帰しましたか。
（2）お勤め先の育児休業の制度の期間内で、希望としては何歳何ヶ月の時まで育児休業を利用したかったですか。
（3）お勤め先に育児休業を3歳まで利用できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

	母親	父親
（1）実際に職場復帰したタイミング	歳 ケ月	歳 ケ月
（2）希望していた利用期間	歳 ケ月まで	歳 ケ月まで
（3）3歳まで利用できた場合の利用希望期間	歳 ケ月まで	歳 ケ月まで

問 34-4 問 34-1 で「1」に回答した方に伺います。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。（母親、父親それぞれに○は1つ）また、取得していない方はその理由を下記から選んでご記入ください。（数字を記入）

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
1. 利用する必要がなかった（もともと短時間勤務等） 2. 利用した（利用中） 3. 利用していない ⇒ 利用しなかった理由 （下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）	1. 利用する必要がなかった（もともと短時間勤務等） 2. 利用した（利用中） 3. 利用していない ⇒ 利用しなかった理由 （下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所に入りにくい
5. 配偶者が短時間勤務制度や育児休業制度を利用した
6. 配偶者が就労していない、祖父母等の親族にみてもらえるなど必要がなかった
7. 短時間勤務制度がなかった
8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
9. その他（ ）

問 34-5 問 34-1 で「2」に回答した方に伺います。「お子さん」が1歳もしくは2歳になったときに必ず預けられる事業があれば、1歳もしくは2歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳もしくは2歳になる前に復帰しますか。(母親、父親それぞれに○は1つ)

	母親	父親	
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	1	1	
2. 1歳になる前に復帰したい	2	2	
3. 2歳になるまで育児休業を取得したい	3	3	→
4. 2歳になる前に復帰したい	4	4	問 34-6 へ

問 34-6 問 34-5 で「3」に回答した方に伺います。あなたが育児休業を2年以上利用したいと考える理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 仕事と育児の両立が難しいと感じたから | 2. 保育所を急いで探す必要がなくなるから |
| 3. できるだけ子どもと一緒にいたいから | 4. その他 () |
| 5. 特に理由はない | |

あて名のお子さんの障がい、発達の状況について伺います。

問 35 これまで、「お子さん」の発達に関して、何らかの医師の診断を受けたことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 受けたことがある ⇒ 問 35-1 へ | 2. 受けたことがない ⇒ 問 36 へ |
|------------------------|----------------------|

問 35-1 問 35 で「1」に回答した方に伺います。それはどんな診断ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|------------|
| 1. 身体障がい | 2. 知的障がい |
| 3. 発達障がい(学習障がいなど) | 4. その他 () |

問 35-2 問 35-1 で回答した診断は、先天性疾患によるものですか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 35-3 お子さんの発達、障がいについて相談している地域の相談機関はどちらですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|--------------------------------------|--------------|-------------|
| 1. 町保健センター | 2. 町障害福祉センター | 3. 児童相談所 |
| 4. 町子育て支援総合センター(めばえ)・子育て支援センター(すくすく) | 5. 学校 | 6. かかりつけの医師 |
| 7. 障がい児相談支援事業所 | 8. 教育研究所 | 9. 特にない |
| 10. その他 () | | |

現状での子育て環境について伺います。

問 36 最初にお子さんが生まれたとき、又は妊娠の際、大磯町にお住まいでしたか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1. 住んでいた ⇒ 問 37 へ | 2. 住んでいない |
|-------------------|-----------|

問 36-1 問 36 で「2」に回答した方に伺います。大磯町に転入した理由をお聞かせください。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| 1. 買い物等生活するのに便利 | 2. 家賃や住宅購入費が安い |
| 3. 交通の便が良い | 4. 医療機関が充実 |
| 5. 自然環境が良い | 6. 認可保育所など、子育て支援サービスが充実している |
| 7. 教育環境が良い | 8. 治安が良い |
| 9. 親族が大磯町に住んでいる | 10. 公共施設や道路・公園・下水道などが整っている |
| 11. その他 (|) |

問 37 子育てをされていて、地域社会から見守られている、支えられていると感じますか (○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう感じる | 2. どちらかといえばそう感じる |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう感じない |
| 5. そう感じない | |

問 38 最近、近所の人とどのような付き合い方をしていますか (○は1つ)

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 困ったときに相談したり、助け合ったりする | 2. 気のあった人と親しくしている |
| 3. たまに立ち話ぐらいいはする | 4. 会えば挨拶ぐらいいはする |
| 5. 顔もよく知らない | |

問 39 近隣市町村に、大磯町にもあったらいいと思う「子どもを対象とした施設」が有りましたら、1つ記入してください

施設名	
所在地	(市区町村名をお書き下さい)

問 40 近隣市町村に、大磯町でもあったらいいと思う「子どもを対象とした制度や仕組み」が有りましたら、1つ記入してください

制度や仕組みの内容	
実施市区町村	(市区町村名をお書き下さい)

問 41 子どもを健やかに産み育てるために必要と思われることは、どのようなことですか。

(○は3つまで)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 出産や育児のしやすい労働条件を促進する |
| 2. 出産や子育てについて気軽に相談できるようにする |
| 3. 妊産婦や乳幼児の保健指導等を充実する |
| 4. 親の就労状況や通勤時間に応じた保育を進める |
| 5. 保育所や幼稚園などの費用負担を軽減する |
| 6. 子どもとの関わり方を教えてくれる機会の充実 |
| 7. ICTを活用した子育て支援の充実 |
| 8. 子どもの個性を尊重した、ゆとりある教育を進める |
| 9. 子どもの意見を政策に反映させる仕組みづくり |
| 10. 児童館や身近な公園など、子どもの安全な遊び場を確保する |
| 11. 子ども会など地域の健全育成を進める |
| 12. 子育てを助け合うコミュニティづくりを進める |
| 13. 子育て家庭の家事を支援するサービス |
| 14. 自然環境を保護し、子どもが自然とふれあう体験の機会を増やす |
| 15. 妊婦や子ども連れでも安心して自由に活動できるまちづくりを進める |
| 16. 質の高い住まいづくりや住環境の整備を進める |
| 17. 男性と女性が一緒に家事・育児に参加していくという考え方を広める |
| 18. その他 () |

問 42 子育てに関する情報をどのように入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------------|----------------------|
| 1. 親族(親、兄弟姉妹など) | 2. 隣近所の人、知人、友人 |
| 3. 子育てサークルの仲間 | 4. 教育・保育施設(幼稚園・保育所等) |
| 5. 子育て支援総合センター(めばえ)・子育て支援センター(すくすく) | 6. 町役場や町の機関 |
| 7. 町の広報やパンフレット | 8. テレビ、ラジオ、新聞 |
| 9. インターネット(パソコン) | 10. インターネット(スマートフォン) |
| 11. 湘南生活安全情報easy pocket(行政メール) | 12. 子育て雑誌・育児書 |
| 13. 保健センター | 14. 電子母子手帳 |
| 15. かかりつけの小児科医師 | 16. 町の乳幼児健康診査 |
| 17. その他 () | 18. 情報の入手手段がわからない |

問 43 子育てに関してどのような情報があればよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 町で行っているイベントや催し物の情報 | 2. 子育ての悩み・相談に関する情報 |
| 3. 子どもの保健・医療に関する情報 | 4. 地域の子育てサークルに関する情報 |
| 5. 幼児教育や習いごとに関する情報 | 6. 子どもの遊び場に関する情報 |
| 7. その他 () | 8. 特にない |

問 44 下記の項目が児童虐待にあたることを知っていますか。（それぞれに○は1つ）

	はい	いいえ
1. 夜間、子どもだけを置いて家をあけること	1	2
2. しつけとして身体を叩くこと	1	2
3. こどもの目の前で夫婦喧嘩をすること	1	2
4. 大声で怒鳴るなど言葉で子どもを追い詰めること	1	2

問45 あなたのご家庭では、「お子さん」と次のことをすることがありますか。（それぞれに○は1つ）

	ほぼ毎日	週に3～4回	週に1～2回	月に1～2回	めったにない
1. お子さんの勉強をみている	1	2	3	4	5
2. お子さんと一緒に外で遊ぶ	1	2	3	4	5
3. お子さんと一緒に家の中で遊ぶ	1	2	3	4	5
4. お子さんと一緒に家事をする	1	2	3	4	5
5. お子さんと一緒に外出する（買い物を含む）	1	2	3	4	5

現状での子育て環境の満足度について伺います。

問 46 現在、子育てをされていて感じている悩みは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 子どもの食生活	2. 子どもとの過ごし方・遊び方	3. 子どもの健康
4. 子どもの教育・しつけ	5. 子どもの発育	6. 夫婦関係
7. 親族との関係	8. 親同士の付き合い	9. 自分の健康
10. 家族の健康	11. 社会との関わりが少ない	12. 近所との付き合い
13. 住居が狭い	14. 子育ての大変さに周囲の理解がない	15. 仕事が十分にできない
16. 自分の時間が持てない	17. 子育てに伴う経済的な負担	18. 身体の疲れが大きい
19. その他（	）	20. 特にない

問 47 現在、子育てをされていて、楽しさと大変さのどちらを感じる人が多いですか。（○は1つ）

1. 楽しさを感じる人が多い	2. どちらかといえば楽しさを感じる人が多い
3. 楽しさと大変さを同等に感じる	4. どちらかといえば大変さを感じる人が多い
5. 大変さを感じる人が多い	

問48 子育てをしてよかったこと、嬉しかったことは何ですか。(○は3つまで)

1. 子どもを持つ喜びが実感できたこと 2. 子どもの成長
3. 子育てを通じて自分も成長できたこと 4. 配偶者との関係がよくなったこと
5. 家族間の会話が増えたこと 6. 家庭が明るくなったこと
7. 子育てを通じて友人が増えたこと 8. 自分の親への感謝の念が生まれた
9. その他（ ） 10. 特にない

問 49 お住まいの地域における子育ての環境や支援の満足度についてお答えください。

(○は1つ)



問 50 以下の項目の満足度を教えてください。(それぞれ「1～5」のいずれかに○を1つ)

	満足度が低い ← → 満足度が高い				
ア. 住環境	1	2	3	4	5
イ. 自然環境	1	2	3	4	5
ウ. 交通の利便性	1	2	3	4	5
エ. 保育サービス等の充実	1	2	3	4	5
オ. 保育所・幼稚園などの入りやすさ	1	2	3	4	5
カ. 子育て支援の充実	1	2	3	4	5
キ. 公園など子どもの遊び場の充実	1	2	3	4	5
ク. 近所づきあいや地域活動	1	2	3	4	5
ケ. 地域の子育てネットワーク	1	2	3	4	5
コ. 子育てに関する情報アクセス	1	2	3	4	5
サ. 事故や犯罪に対する安全性	1	2	3	4	5
シ. 学校教育の充実	1	2	3	4	5
ス. 放課後の子どもの居場所の充実	1	2	3	4	5
セ. 医療機関の充実	1	2	3	4	5

問 51 今後も、大磯町で子育てをしていきたいと思いませんか。(○は1つ)

1. ずっと大磯町で子育てをしていきたい 2. 当分の間は大磯町で子育てをしていきたい
3. できれば大磯町以外の市区町村で子育てをしたい 4. 近いうちに転出するつもりである
5. その他（ ）

問 51-1 問 51 で「2」に回答した方に伺います。「当分の間は大磯町で子育てをしていきたい」と思う理由は何ですか。(○は1つ)

1. 保育所、幼稚園、認定こども園など就学前のサービスは充実しているが、就学後の子どもの居場所に不安があるから
2. 子育て支援・教育は充実しているが、子どもの年齢が大きくなると地域の安全面での心配が大きくなるから
3. 子育ての利便性は高いが、生活に不便を感じるから
4. その他 ()

問 52 「希望する子どもの人数」と「実際に持つことができると思う子どもの人数」について伺います。((1)(2)それぞれに○は1つ)

(1) 希望する子どもの数

1. 1人	2. 2人	3. 3人
4. 4人	5. 5人	6. その他 ()人

(2) 実際に持つことができると思う子どもの数

1. 1人	2. 2人	3. 3人
4. 4人	5. 5人	6. その他 ()人

問 52-1 問 52 で「(2) 実際に持つことができると思う子どもの数」が「(1) 希望する子どもの数」より少なかった方に伺います。次のうち、あてはまる理由をお選びください。(あてはまるものすべてに○) なかでも最大の理由をお選びください。(○は1つ)

	(1) あてはまる理由	(2) <u>最大の</u> 理由
	(あてはまるものすべてに○)	(○は1つ)
1. 育児の体力的な問題	1	1
2. 育児の経済負担が大きい	2	2
3. 育児の精神的負担が大きい	3	3
4. 年齢的な理由で厳しい	4	4
5. やりたいことができなくなる	5	5
6. 仕事と育児の両立が難しい	6	6
7. 教育をめぐる状況に対して不安	7	7
8. 将来の教育費の負担が不安	8	8
9. 家が狭い	9	9
10. その他 ()	10	10

あて名のお子さんの子育てにかかる費用等について伺います。

問 53 「お子さん」の子育てにかかっている費用は1カ月いくら位ですか。食費は除いてください。(○は1つ)

1. 2万円未満 2. 2～4万円未満 3. 4～6万円未満 4. 6～8万円未満 5. 8万円以上

問 54 「お子さん」の世帯では、過去1年間に経済的理由により、次のような経験をしたことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 電気料金・ガス料金・水道料金の未払い
2. 家賃の滞納
3. 電話(固定・携帯)などの通信費の未払い
4. 税金の滞納
5. 医療機関の受診を断念
6. 借入金(クレジットカードで支払いを含む)の返済が遅れた・できなかった
7. 家族が必要とする食料が買えなかった
8. 子どもが必要とする学用品や衣料が買えなかった
9. 学校の給食費を滞納してしまうことがあった
10. 子どもを学校のクラブ活動や修学旅行等の行事に参加させることができなかった
11. 子どもが希望しているのに塾や習い事に行かせることができなかった
12. 家族が希望しているのに旅行(日帰り旅行も含む)に行くことができなかった
13. 特にない

問 55 最後に今後、子育て支援策として、どのようなことが充実していけばよいとお考えですか。ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

調査票は、同封した封筒に入れて、**令和6年1月24日(水)に必着**でご投函ください。(切手は不要です。)

